

Curriculum Highlights of NIPPON MEDICAL SCHOOL

新テクノロジー時代の医学部教育

最先端の医学教育は、 ここにある。

テクノロジーが進歩して、医学生の学修環境は時間的・空間的に自由になりました。学生は時間割に縛られず、e-Learningを通じて主要な学修領域を進めることができます。これにより、医学生は自分の興味のある研究や留学に時間を割くことが可能になりました。

日本医科大学は、VR (Virtual Reality)、アンドロイド、シミュレーターなどのテクノロジーや、数理・データサイエンス・AIなどの医学教育を迅速に採り入れています。これらすべては、医学生が自分自身の目指す医師像や興味に基づいて、画一的な教育ではなく、学修状況や個人の興味に応じた能動的な学修方法を選択できるように、教育を個別化することにつながっています。それは、すべての学生が6年間で最大限の力をつけることができる平等な学修環境です。

新テクノロジー時代の医学部教育

scene

01

ICTで時間と空間を超える

ICT技術を医学教育に採り入れることで、時間や空間にとらわれない学修が可能になります。興味や目標にあわせて学修したり、その場に同席しない同級生の考え方や姿勢から刺激を受けたり、これまでなかった医学教育が実現します。

GPA評価の高い学生に対して、
柔軟な学修を提供



「GPA上位者特別プログラム」は、学生の学修成果を評価し、優秀な学生を支援するための制度です。このプログラムでは、GPA (Grade Point Average) が上位の学生に対して、e-Learning講義を利用することで講義への出席を免除し、その時間を短期海外留学や研究体験などに活用することが可能となります。このような取り組みにより、学生は学修の自由度を上げることができ、自分の興味や目標に合わせて学修を深めることができ、より広い視野を持つことができます。

また、e-Learning講義が充実していることにより「仮進級制度」の導入も可能になりました。1、2年生で不合格科目が2つ以下でGPAが一定以上の学生は、仮進級したうえで翌年再受験できます。これにより、学生が留年や浪人をせずに国家試験に合格する「ストレート合格率」の向上が実現しています。

GPA上位者特別プログラム制度



最先端の講義収録システムを完備

本学では原則として講義は全て録画され学生に公開されるようになりました。学生はいつでも講義を視聴することが可能です。GPA上位者特別プログラム制度は、令和4年度「大学機関別認証評価 評価報告書」においても、「e-Learning講義を利用することで講義への出席を免除し、短期海外留学や研究体験などを可能とする制度」として高く評価をされています。

講義
Video
配信

GPA上位者



学外からでも
講義Videoで受講

海外
留学中

地方での
学会発表

自己研究に
合わせた
時間での
学修

任意の
場所での
学修

etc.